

東日本大震災被災地へ出動

1次隊・・・3月14日～19日



左から/南崎 広幸、吉永 勲、保田 秀雄
鶴田 信二、北田 浩信、中石 竜二
須藤 哲也

平成 23 年 3 月 11 日(金) 14 時 46 分、太平洋三陸沖を震源としたマグニチュード 9.0 の大地震が発生しました。熊本県緊急消防援助隊として、3 月 14 日から 3 月 23 日まで八代広域消防本部から、1 次隊・2 次隊を編成し出動しました。消防車(タンク車)・支援車の 2 台で宮城県仙台市にて消火活動・捜索活動を実施しました。

被災地では、今もなお、行方不明者及び避難生活を余儀なくされる被災者が多数おられます。私達は、亡くなられた方々に哀悼の意を表するとともに、少しでも早い復興を心から望んでおります。

2次隊・・・3月18日～23日



左から/本田 勇、四宮 隆裕、沖田 健作
竹永 功治、楠下 和明、藤本 龍昭
森田 武



地震 が起きたら










あわてず、まず身の安全を

地震について日頃から家族みんなで話し合い、準備品や連絡方法などを決めておきましょう！

※いざという時に地震から身を守る 10 ヶ条を覚え、落ち着いて行動しましょう。

地震から身を守る 10 ヶ条

家から避難する時は必ずブレーカーを下ろし、ガスの元栓を締めて避難しましょう。

<p>1 まず身の安全を</p> <p>テーブルや机の下に身を隠し安全を図る。家具類などの転倒防止対策をしておくことが肝心。</p> 	<p>2 火の始末</p> <p>グラツときた時に火を消す。すでに大揺れの時は無理に火を消すと危険。また、火元付近に燃えやすいものは置かない。</p> 	<p>3 出口の確保を</p> <p>家の中にいるときは戸等を開ける。逃げ口を失ったら避難ができない。</p> 	<p>4 火が出たら消火</p> <p>もし火災が発生しても天井に燃え移る前ならあわてずに初期消火に努める。</p> 	<p>5 あわてて外に出ない</p> <p>飛び出しはケガのもと、冷静な判断を。逃げる時は瓦やガラス等の落下に注意。</p> 
<p>6 ブロック塀や自販機には近づかない</p> <p>倒壊の恐れがあります。</p> 	<p>7 山崩れ、がけ崩れ、津波に注意</p> <p>山間部や海沿いの地域で揺れを感じたら、早めの避難態勢を。</p> 	<p>8 正しい情報を聞く</p> <p>間違った情報にまどわされず、ラジオなどで最新の情報を入手。</p> 	<p>9 協力し合って応急救護</p> <p>多数の負傷者が出れば病院等での手当にも限界が。地域ぐるみでの応急救護の体制作りが大切。</p> 	<p>10 避難は徒歩で荷物は最小限に</p> <p>指定された避難場所へ徒歩で避難する。車やオートバイは使わない。</p> 